

ハンドボール No.87

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合番号 玉名-男27

年月日 2019年8月5日(月)
大会名 令和元年全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 熊本国府高等学校					B 県立今治西高等学校									
都道府県 熊本県		市町村 玉名市			会場 玉名市総合体育館							回戦 2回戦		
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mAD-コンテスト	A	B
	13	9		26	21									
7m得点/総数		A チームタイムアウト			B チームタイムアウト			7m得点/総数						
2/4		1	2	3	1	2 後半	3	0/1						
		1658					2123 0732 2032							

No.	熊本国府高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	県立今治西高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	濱崎 弘己							1	福本 廉						
2	鶴田 倫太郎							2	越智 祐介			1			
3	辻本 賢生	2		1				3	櫛野 敬太						
6	滑石 仁							4	野口 航希						
7	松岡 拓斗	2		1				5	福島 大翔	2					
8	岩崎 琢未	3						6	八塚 陽才		1				
9	山上 琉希	1						7	相原 惇志	9					
10	井上 選	4						8 C	片上 琢朗	8	1				
11 C	清水 大地							9	宇高 充希						
12	鶴田 仙太郎							10	高田 洸希						
13	蓮澤 圭	8						11	西坂 一吹						
14	吉永 蓮							12	小泉 直樹						
15	渡邊 舜也	6		1				13	河野 大嘉						
16	富田 大貴							14	松田 航汰	2					
役員A	鎌田 雅彦							役員A	近藤 啓司						
役員B	宮瀬 知周							役員B	清水 花野						
役員C	大崎 暢夫							役員C	白石 雄輝						
役員D								役員D							

A	鎌田 雅彦	チーム役員A署名	近藤 啓司	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	内藤 雄貴	倉藤 博之	内藤 雄貴	倉藤 博之
TD	亀川 政文	上原 真生	亀川 政文	上原 真生
MO				

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 89

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 5日 月曜
会場	玉名市総合体育館
種別	男子
回戦	2回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
	熊本国府	26	13-9	21	今治西
			後半		
			13-12		
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	<p>初戦となる熊本国府は県予選では千原台に後塵を押し、開催地枠での出場。今春の選抜ではベスト8に入り、地元の声援を一身に受けて上位進出から優勝を狙う。一方、今治西は1回戦で出場6回目にして、国学院栃木相手に初勝利。波に乗り勢いがある。まず今治西が片上のミドルシュートで先制。国府も岩崎のミドルシュートで同点。その後は今治西のGKの好守もあり、拮抗した試合展開となる。15分過ぎ、今治西が退場するも粘り強くDFし、国府は1点をあげるのみ。突き放したい国府は6-5と1点リードの場面、蓮澤のミドルシュートから3連続得点をあげる。今治西はタイムアウトを取り、立て直しを図る。その後は一進一退、そのまま4点差、13-9で国府リードで前半終了。</p>
	後半	<p>何とか突き放したい国府、反撃の糸口を見出したい今治西。後半最初の得点は国府。そこから今治西が粘りのプレーで、国府に主導権を渡さない。国府は、蓮澤のミドルシュート、渡邊の速攻やサイドシュートで得点するが、今治西も相原のミドルシュートや技ありサイドハンドシュート、片上の速攻やミドルシュートで応戦。最大9点差となるが、あきらめずに自分たちのプレーを貫き、5点差まで戻す。しかし今治西の粘りも逆転までは至らず、そのままタイムアップ。国府が初戦を突破した。リードされても自分たちのプレーを貫いた今治西の健闘が光った一戦であった。</p>

記入者	岩崎 和彦
-----	-------